

平成29年度第1回筑西市総合教育会議会議録

1. 招集日時 平成29年8月17日(木) 午後4時00分(開会午後4時00分～閉会午後5時5分)
2. 場 所 筑西市丙360番地 筑西市役所4階 全員協議会室
3. 出席構成員 須藤茂市長、吉澤貴美子教育委員会委員長、塚本真実教育委員会委員長職務代理者、斉藤裕光教育委員会委員、坂入文圭教育委員会委員、赤荻利夫教育委員会教育長
4. 欠席構成員 なし
5. 構成員以外の出席者 【市長部局】市長公室長：谷中徳久、総務部長：菊池雅裕、企画部長：深見正徳、総務部次長兼行政改革推進課長：小野塚直樹
【教育委員会】教育部長：柴武司、次長：中島眞一、次長：福田幸一、学務課長：飯山正幸、指導課長：大森達也、学務課学校総務グループ課長補佐：渡邊久人、学務課学校総務グループ係長：直井真一
6. 傍聴者 1名
7. 会議に付した案件 (1)「筑西市教育大綱の一部改訂について」
(2)「本市の学校の適正配置の在り方について」
8. 議事の大用
 1. 開会
 2. あいさつ

須藤市長：平成27年度からすべての地方公共団体に『総合教育会議』が設置されることになりました。本市においてもこれまで3回開催したところでございます。本日は、「筑西市教育大綱の一部改訂について」と「本

市の学校の適正配置の在り方について」、教育委員の皆様と協議調整を行いたいと考えております。

つきましては、皆様の忌憚のないご意見を頂戴できればと考えております。

今後とも、皆様とより一層連携を深めまして、児童生徒の教育環境の充実を図ってまいりたいと考えておりますので、慎重かつ活発なご審議をお願いいたします。

本日は、どうぞよろしく願いいたします。

吉澤委員長：今日は総合教育会議ということで、市長さんと筑西市の教育について協議する機会を与えていただき、大変うれしく思っています。今後、学習指導要領の改訂やオリンピック・パラリンピック開催など、さまざまな行事等がありますが、みんなが幸せになるために私たちはがんばっていきたいと思います。今日の会議はよろしく願います。

3. 議事録署名人の指名

次に、3. 議事録署名人の指名でございます。筑西市 総合教育会議 運営要綱 第7条第2項の規定によりまして、坂入委員を指名させていただきたいと存じます。どうぞよろしく願いいたします。

続きまして、4. 協議事項に入らせていただきます。ここからは筑西市 総合教育会議 運営要綱第4条第5項の規定によりまして、会議の進行を須藤市長にお願いしたいと存じます。どうぞよろしく願いいたします。

4. 協議事項

(1) 「筑西市総合教育会議運営要綱の一部改訂（案）について」

飯山学務課長：資料により説明

吉澤委員長 「2 確かな学力の習得と豊かな人間性の育成」のなかに「外国語活動の充実と国際教育の推進を図ります」とありますが、今小学5年生・6年生が行っている外国語活動を、今後3年生・4年生で行うようになり、5年生・6年生が英語の授業を行うようになることを考えると、外国語活動と英語の授業を含めて「外国語教育の充実」とした方が良いかと思えます。

須藤市長 それでは「外国語活動」とあるのを「外国語教育」とし、「外国語教育の充実と国際教育の推進を図ります」ということでよろしいでしょうか。

赤荻教育長 はい。

須藤市長 ほかに何かありますか。無いようですので、「筑西市教育大綱の一部改訂について」は、このとおりとします。

(2) 「本市の学校の適正配置の在り方について」

飯山学務課長：資料により説明

須藤市長 私も下館北中学校の生徒が減少していることを聞いておりますし、明野中学校をモデル校とした小中一貫教育を昨年10月から行って、英語の授業や部活動体験を実施したことも聞いております。教育委員会としても筑西市学校の在り方検討委員会の答申について協議を重ねてきております。今日は教育委員さんからのご意見をお聞きしたいと思います。

塚本委員 下館北中学校ですが、現在2・3年生が2クラス、1年生が1クラスとなっています。学区内の中小学校・河間小学校の児童数の変動をみると、何年先かに全学年1クラスという非常事態が差し迫っている現状にありますので、何とか下館中学校との統合に向けて話し合いができないかと感じています。

須藤市長 児童生徒の減少の状況はどのようになっていますか。

飯山学務課長 (資料配布)

こちらはそれぞれ「平成28年5月1日現在の生徒数」、「平成29年5月1日現在の生徒数」、「今後平成39年度までの生徒数・学級数の見込み」になっています。ただ生徒数・学級数の見込みについては、指定校変更等による増減を加味しておりませんので、実情とは多少違ってくるかと思えます。

それで昨年と今年、大きく違ってきているのは、今年度下館北中学校の1年生が38人で1クラスになっております。また今年の下館北中学校区の小学6年生の児童数を見ますと、来年度も下館北中学校の1年生は1クラスと推測されます。

また、今年度明野地区におきましては、鳥羽小学校の1年生が7名と非常に少ない状況となっております。児童数・生徒数の推移については、年々減少していることが読み取れるかと思えます。

須藤市長 確かに減ってきていますね。これが現状ということですね。そのなかでも特に下館北中学校の生徒が減っていることが分かりますが、部活動の状況とかはどうなっていますか。

飯山学務課長 (資料配布)

今年度の下館北中学校と下館中学校の部活動の状況になります。下館北中学校については現在野球部が休部中となっております。また男子バレー部、柔道部、剣道部などが現在活動していないという状況です。そのため、特に野球やバレーをやりたい男子生徒が中学校に行く場合に、部活がない下館北中学校ではなく下館中学校に、部活動を理由として指定校変更しているという状況です。

須藤市長 下館北中学校バレー部は、何年か前に全国大会に出場しましたよね。

赤荻教育長 男子バレー部が全国優勝したことがあるのですが、現在は部員がいないために活動できず、下館中学校に指定校変更しているのが現状です。

須藤市長 資料の中の指定校変更と書かれている人数は何ですか。

飯山学務課長 本来下館北中学校に通う区域の生徒ですが、やりたい部活動が下館北中学校ではできないので、指定校変更して下館中学校を希望していった人数です。

須藤市長 どうしてこうなってしまったのでしょうか。指定校変更するのを止めるわけにもいきませんからね

赤荻教育長 中館という地区は下館北中学校区に指定されているのですが、その中に下館二高の北側に宅地造成によりできた地域があります。そこから下館北中学校に通うよりも下館中学校に通った方がはるかに近いことや、国道50号バイパスが通ったことにより、子どもの安全を考えたときに大きな道路を渡っていく必要はないという意識の人が増えました。またその地域に宅地を求めた人たちはもともと下館中学校区に住んでいた方が多かつたらしく、従前のつきあいから下館中学校へと通わせる人が増え、一気に指定校変更する方が多くなったようです。加えて友達関係を維持するため下館中学校に変更する人も増えています。野球部に入るため指定校変更して下館中学校に通っている5人のうち4人は1年生なのですが、来年に後輩が入ってきてチームが組めるのではないかと検討してもらったようですが、その見通しが立たなかったため指定校変更したようです。希望する部活動が無いということは指定校変更の条件の一つとして認められているのですが、そのほかにも「子どもたちの希望を叶える」という意味での指定校変更を認めているために、指定校変更が一気に増えてきてしまったということです。

須藤市長 校舎など建物の状況はどうでしょう。

飯山学務課長 小学校については、ほとんどの学校で30年以上は経っています。今後、段階的・計画的に改修工事の必要性が出てくるのが考えられます。

須藤市長 中学校については、下館北中学校はできたばかりですし、全体的に新しいと思います。

塚本委員 小学校の適正配置を考えると、明野地区の小学校のように小さな小学校が点在しているので、「統合してほしい」という考えは、児童の保護者の方々は持ってらっしゃいます。

ただそれよりも先に、喫緊の課題が下館北中学校です。校舎はきれいになっていますが、1学年1クラスになってしまう現状を考えると、先生の配置ができず、中学校に割り当てなくてはいけない先生の数も確保できない事態になってきます。その一方で、もし統合により下館中学校に通うことになった場合、下館中学校には下館北中学校の生徒を受け入れるだけのキャパシティーがありますので、施設的には統合は可能と思われます。ですから、今後どのような方針で適正配置を進めていくのか、示していただければと思います。地域の方々も、差し迫った状況にあることは分かってらっしゃると思うので、その方向付けをお願いします。

それから、行政に考えてほしいと思っているのは地域のコミュニティの部分で、「下館北中学校が無くなってしまふのはさみしい」、「きれいになったばかりなのにもったいない」など、いろいろな意見が出てくると思いますので、その枝葉の部分を中心にきれいに整理し、答えを用意しておかなくてはいけないかなと思います。

須藤市長 明野地区の小学校については、モデル校として小中一貫教育を進めており、最終的には施設一体型の義務教育学校を目指しているところです。

下館北中学校については、下館中学校と統合するにしても、その方向性を市民の皆さんにお示しする必要があると考えています。下館北中学校区の中小学校・河間小学校についても同様です。生まれた子が小学校に上がるときにどうなっているか、保護者の方は心配だと思いますので。中小学校も河間小学校も校舎が古くなってきておりますので、下館北中学校と下館中学校を統合した後、下館北中学校跡地に小学校を統合するというのも、可能性の一つとしてですが、考えなければいけないかと思っています。

吉澤委員長 小学校の統合をする前に、まず下館北中学校を考えていただきたいと思います。子どもたちの教育環境を整えるという意味では、部活動の状況や教員配置の面でも、下館中学校との統合により改善が図られるのではないかと考えています。

須藤市長 今の状況を考えると、そうかもしれないですね。ただ問題は、下館中学校から遠い地区の生徒の通学についてですが・・・。

赤荻教育長 その件については、教育委員さんたちとお話をしたときに、地図に書き入れて確認してみました。「下館中学校を起点にしてどれくらいの距離なのか」、「通学できる距離なのか」と、調べてみたところ、だいたい関城中学校・明野中学校・協和中学校と同じくらいの範囲です。

須藤市長 それは自転車で通える距離ということですね。

赤荻教育長 自転車で通える距離です。下館中学校そのものが、下館中学校区のいちばん北のはずれに立っているということもあります。

飯山学務課長 ほぼ6キロ以内です。自転車通学で1時間というとなら6キロくらいなのですが、ほとんどの地域がその6キロの範囲におさまる状況です。ただ県境近くになると、6キロを超えてしまう人がいるのです。

が・・・。

須藤市長 子どもの数が少ないですからね。統合についても、いま言ったようなことも含めて考えておかないと。何年か先のことを考えておかないといけないですね。方向性としてはそういう方向に・・・。

教育委員一同 考えていただきたいですね

須藤市長 分かりました。ほかに何かありますか。

斉藤委員 下館北中学校区のことですが、保護者に意見を聞きますと、子どもの数を考えても下館北中学校区単独で維持していくのは難しいと思っているようです。下館中学校との統合ということも、保護者の方々は考えているようですね。

そうなったときに、生徒数の推移など具体的な数字と方向性を示して、慎重に説明する必要があると思います。「いつやるのか」というのが地域の人が一番聞きたいところだと思いますので、そこをきちんと決めて、その方向性をきちんと保護者・子どもたちに説明する必要があるのかなというのが、皆さんの意見を聞く中で一番感じた点です。

須藤市長 今後しっかりと考えていきたいと思います。

小学校はかなり古くなっているが、地震や災害に備えなければならない。そのあたりどうなっていますか。

飯山学務課長 大規模改修は、小学校については年度計画で進めているところです。どうしても建築から30年・40年と経過しているので、改修が必要なところが出てきます。

須藤市長 いくら何年か先に統合しようとか考えても、いつ地震が起こるか分からないから、耐震工事などもしっかりしなければいけない。

赤荻教育長 耐震工事については100%達成したのでありますけど、付帯設備、例えばプールの床がめくれてしまうなど、耐震以外のところで問題が出てきてしまっています。施設面を含め、総合的に統廃合を考えていかなければならないと、私は考えています。

また、塚本委員からもありましたが、今年下館北中学校の1年生が1クラスになってしまい、来年の新生も1クラスになってしまう。来年は4クラスになる見込みです。基本的に教員の配置というのは9教科でやっていますので、1人の先生が1クラスを担当して9クラスということで、適正規模を9クラスと設定しています。時間数の少ない美術とか音楽の先生に、特別支援学級を受け持ってもらうことで、なんとか全教科免許を持っている先生が授業をしている状況です。ただしこれは、「加配」という特別な配置を使っている為で、市でいただいた加配教員のうち2人を下館北中学校に配置しているのですが、その代わり生徒数が多い学校に配置できない。生徒数が多い学校に先生を多く配置して、生徒を少人数に分けて指導するというのが本来の使い方なのですが・・・。

それから、子どもにとって何が良いのかと考えたときに、1クラスだとしても仮にいじめがあったときに逃れられない、クラス分けによって配慮してやれないので、何とか複数のクラスにしてやりたいというのが、私たちの思いです。

学校の在り方検討委員会から答申いただいた中で、下館北中学校の統合を喫緊の課題として考えています。もちろん大きな目標は小中一貫の義務教育学校でありますけれども、中小学校と河間小学校が統合されても1クラスくらいの規模ということになってしまう。また、小学校は地域のコミュニティに関係しますので、それは少し後にしましても下館北中学校の生徒を何とかしてやりたいというのは、教育委員みんなの思いです。

須藤市長 適正配置につきましては、今おっしゃっていただいたほかにもたくさん問題があると思いますので、

皆さんのご意見を聞いて、しっかり行政としてやっていきたいと思しますので、よろしくお願いします。

飯山学務課長 それでは、本日皆様から頂いたご意見を参考にいたしまして、教育大綱の一部改訂につきましては再度校正いたしまして市長決裁を、適正配置につきましても、今後市としての方針を決めていきたいと思います。

須藤市長 しっかりとご意見いただいたものを検討して、またご報告したいと思っております。

中島次長 以上で平成29年度第1回筑西市総合教育会議を閉会いたします。

以上 閉会午後 5時5分